

## ロタウイルスワクチンの定期接種に関するQ&A

Q1：腸重積症とはどのような病気ですか

A：腸重積症は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気です。腸重積症にかかると、腸の一部が隣接する腸管にはまり込み、腸の血流が悪くなることで腸の組織に障害を起こすことがあるため、速やかな治療が必要となります。お子さまの様子がいつもと違うと感じた場合は、速やかに医療機関を受診させてください。

Q2：初回接種はいつから、いつまでに受ければよいですか。

A：定期接種として、出生6週0日後から接種を受けることができます。初回接種の標準的接種期間は生後2月から出生14週6日後までとしています。出生6週0日後以降であれば、生後2月より前に初回接種を受けても医学的には問題ありません。

Q3：1回目の接種が生後14週6日を過ぎてしまったら、もう接種はできませんか。

A：各ワクチンの添付文書上は接種可能ですが、接種はお勧めできません。0歳児は、月齢が進むと腸重積症という病気にかかりやすくなり、自然発生による腸重積症のリスクが増加するため、生後14週6日を越えての初回接種はお勧めできません。

Q4：ロタリックス（1価ロタウイルスワクチン）の2回目が生後24週を過ぎてしまったら、もう接種はできませんか。ロタテック（5価ロタウイルスワクチン）の3回目の接種が生後32週を過ぎてしまったらもう接種はできませんか

A：接種できません。

【ロタリックス（1価ロタウイルスワクチン）の場合】

生後24週を超えた乳幼児に接種した時の有効性・安全性についての情報はありませんので、遅くとも生後24週0日までに2回の接種を完了させてください。

【ロタテック（5価ロタウイルスワクチン）の場合】

生後32週以降の接種は安全性や有効性が確認されていませんので、生後32週0日までに3回目の接種を完了させてください。

その他のロタウイルスワクチン定期接種に関するお問い合わせについては、以下までご連絡ください。

また、ロタウイルスワクチンの接種に関するお問い合わせは、かかりつけの医療機関へご相談ください。